

平成 2 8 年第 2 回定例会（9 月議会）
建設部 提出資料

建設委員会

【所管関係】

○ 河川砂防課	成瀬ダムの型式変更（案）について	・ ・ ・ ・ ・	1
○ 港湾空港課	秋田港長期構想委員会について	・ ・ ・ ・ ・	3

成瀬ダムの型式変更（案）について

平成28年9月15日

河川砂防課

1 概要

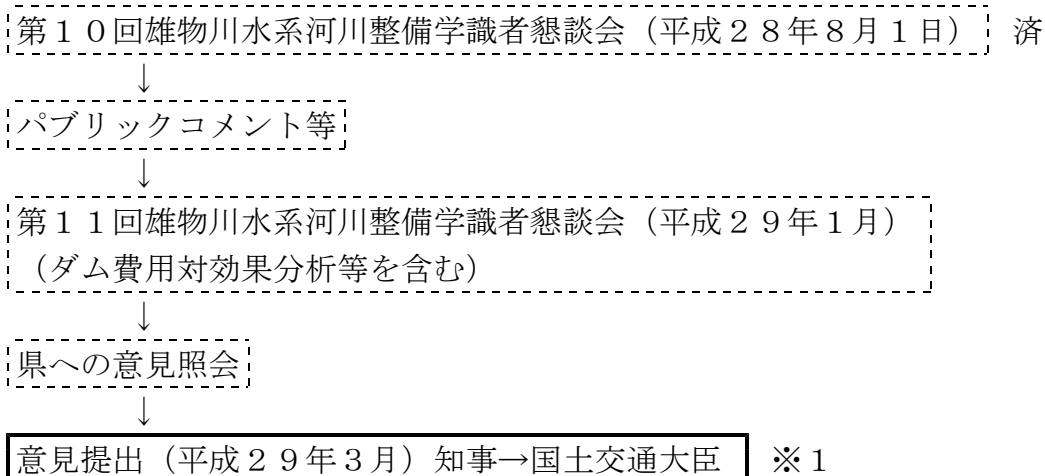
- ・平成28年8月1日に開催された「第10回雄物川水系河川整備学識者懇談会」において、雄物川水系河川整備計画の変更案が諮られた。
- ・変更案では、ダム諸元の見直しとして、ダム本体の型式を「ロックフィルダム」から「台形CSGダム」に変更する方針が示されたところである。
- ・特定多目的ダム法に基づく、ダム基本計画の変更手続きには、県への意見照会があり、意見の提出においては、県議会の議決が必要となる。

2 変更内容 次頁のとおり

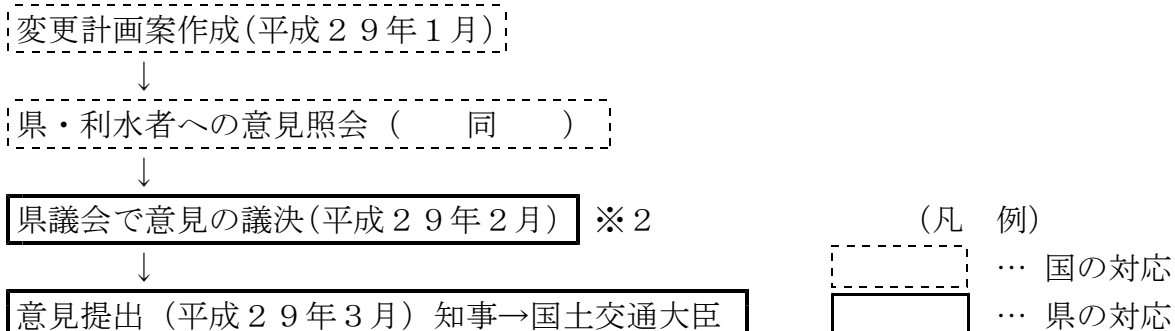
3 変更手続きのスケジュール（予定）

「河川法」と「特定多目的ダム法」の二つの法律に基づく手続きが進められる。

（1）「河川法」に基づく「河川整備計画」の変更手続き



（2）「特定多目的ダム法」に基づく「ダム基本計画」の変更手続き

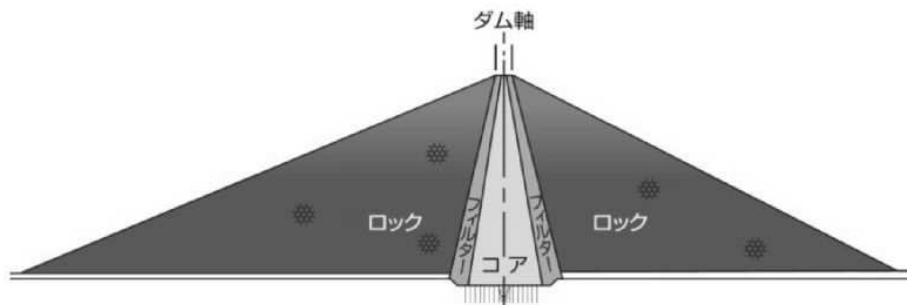


（注）「※1」の意見提出は「※2」の議決を踏まえた内容となる。

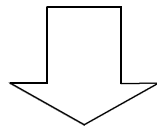
成瀬ダムの型式変更（案）

- ・新技術である「台形CSGダム」を採用することにより、合理化施工が図られるとともに、自然環境への影響低減が可能となることから、ダム本体の型式を変更する。

【ロックフィルダム】



ダム高	113.5m
堤頂長	690.0m
堤体積	11,958千m ³
総貯水容量	78,500千m ³



【台形CSGダム】



ダム高	114.5m
堤頂長	778.5m
堤体積	4,760千m ³
総貯水容量	78,500千m ³



秋田港長期構想委員会について

平成28年9月15日
港湾空港課

1 委員会の趣旨

- ・現在の秋田港整備は、平成17年策定の長期構想及び平成18年改訂の港湾計画（目標年次：概ね平成32年）に基づき進めているが、既に10年が経過
- ・この間、新たな石炭火力発電所や洋上風力発電施設の建設計画が進められているほか、大型クルーズ船等の寄港回数が増加するなど、港湾利用状況が大きく変化
- ・このため、学識経験者、地域住民、港湾利用者等からなる委員会を設置し、秋田港の長期展望を見据えた20～30年先の将来像を検討【第1回9月5日開催済】
- ・新たな長期構想を策定した後、引き続き、港湾計画を改訂する予定

2 検討内容

- ・秋田港の現状分析（問題点）、対応すべき課題
- ・秋田港のあるべき姿、果たすべき役割、中・長期的な展開の方向性（施策）
- ・秋田港長期構想の策定（短期・中期・長期）
※長期構想のうち短・中期的施策（概ね15年）を抽出し港湾計画改訂（案）へ反映

【検討体制】



3 スケジュール

- ・長期構想を平成29年度内に策定し、平成30年度内に港湾審議会等を経て、港湾計画を改訂する予定